

「今日から俺は！！と一休とIPPONと ISSA」の関係



<https://www.youtube.com/watch?v=jZ8B3wyTU4s>

平成30年の終盤は、思わず日テレの「今日から俺は！！」にはまってしまいました。

赤いTシャツに短ランって、ベタな長ランヤンキーに対してのダサかつこよさのはしりで、懐かしすぎて、思わず青春時代に引き戻されてしまいました！！

なんでこんなにはまっているんだろうと考えたとき、不良青春マンガは色々ありますが、「今日から俺はツツパリを始める。脈絡は特に無し」というマンガの設定が自分好みなんだと気づきました。「今日から俺は」に平成30年の禅語大賞をあげたいと思います。

なぜなら、、、、

「石上栽花後 生涯自是春」という禅語があります。

この禅語は二通りの解釈ができます。

①「禅の修業とは石の上に花を植えるような途方もなく困難なもの。しかしもしそれができたなら、そこから先の人生は一生春のようなものだ！！」という意味です。困難を乗り越えたものだけが達することができる境地という解釈だと思います。イチローや羽生選手の世界です。一方、

②「脈絡なくとも今日から俺は！！と覚悟をすれば、それはそれで一生青春！！」という解釈です。「喫茶去」という禅語がありますが、「まあまあ、お茶でも一杯どうぞ」という意味です。禅のマスターが、尋ねて来た修行者に掛ける禅問答です。下の2つの絵は同じ気づきをもたらしてくれる禅画だと思います。



石の上になんとか木を植えようとしているウサギと、ひょうたんで鯨を捕まえようとしている男の姿は同じ心境を表していると思います。集中しすぎて自分が明らかに無理なことをしていることにすら気づいていない修行者に対して、禅マスターが「喫茶去（まあまあ、お茶でもどうぞ）」と問い掛けることによって、修行者の思考が一休みし、視点が切り替わり、良く見るとタンポポなら岩の上にも咲いていることに気づいたりもして笑いがこみ上げる。禅の境地に近づくために修行しているのに、どんどん離れていってしまっている自分の滑稽さを俯瞰させられる。厳しい修行が問題ではなく、厳しい修行の果てに悟りがあるという時間軸に縛られた思考から開放されることによって、本来の禅マインド、より晴れやかな気持ちが戻ってくるという教えが「喫茶去」には込められていると思います。

したがって、難しい修行（脈絡）は無くとも、「今日から俺は!!」と自分に宣言して、集中と俯瞰の精神状態のバランスをツツパリ貫けば、それはそれで禅マインドのような一生青春状態が得られるという意味で、「**今日から俺は!!**」を平成30年の禅語大賞に認定したいと思います。

我々の現場においても、安全に作業するためには、集中力は絶対に必要です。しかしながら気温上昇や作業負荷が多くなってくると、いつの間にか近道行為をしていたり、一度引けばいいのに押し押し押しで強引に作業してみたり、自分を冷静に俯瞰することを忘れたまま作業していることが多々あります。

作業現場であたかも禅マスターのように振舞ってみたい。何の脈絡も無く。ということで

平成31年元旦「今日から俺は!!」と宣言して集中と俯瞰のバランスを絶対に忘れない、安全マンになると、自分に対してツツパリ抜きます!!

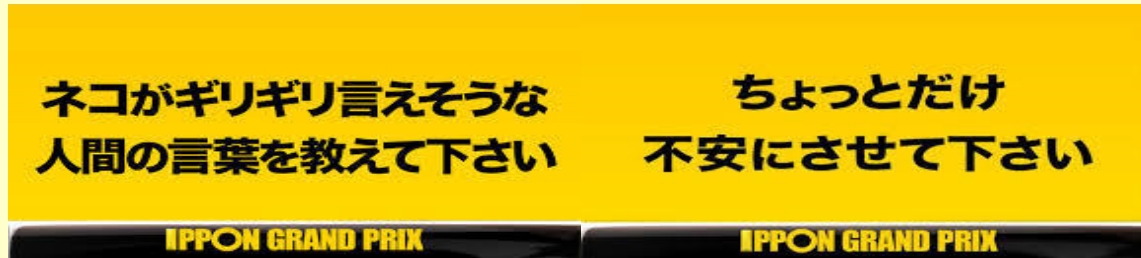
しかし、こうして考えてみると、禅のお坊さんの修業も我々一般人の仕事も、自覚を持って臨めば、頭の中で起こっていることは大差ないのではないかと感じます。

自分が1番、「集中と俯瞰の覚悟」を感じるのは、お笑い芸人さんです。



M-1グランプリ2018すごかったですね。出場者よりも審査員がすごかったですね。

「集中と俯瞰のIPPON GRAND PRIX」が審査員席で展開されていました。



出場する芸人さんは何百回、何千回と練習したネタを見せる芸ですが、審査員の芸人さんは即興一発勝負の芸で、鬼速でお笑いを因数分解して的確に解説し、なおかつ権威と笑いとがそこに漂っていないといけないう一本勝負。あの巨人師匠ですらカミカミ状態の緊張感の中での勝負。これは非常に見ごたえがありました。自分が一本！だったのはあの瞬間！あの方がこんなにダサかったいい方だったとはぜんぜん知りませんでした。



キレイの立川志らくさんが、「私は普通の審査をしようと思っているんですけど、談志が今降りてきています。体に入っていますから」と話したのを受けて、ナイツの塙さんが、「優勝もしてないですし、審査してもいいか迷ったんですけど、テレビに出たかったので。きょう、内海桂子師匠が降りてきます」と切り返して、
今田さんから「まだ元気ですから！（怒）」のツッコミを入れさせた時点で

IPPONN！！でした。上沼さんも完全に一本とられた表情でした。あの緊張感の中での集中と俯瞰のダサカッコいい妙技を見せられた瞬間でした。

余談になりますが、吉本の演出臭を消すためのオリンピックメダリストの起用とかいらないですよ。できれば、審査員席、ひな壇席、演者席、ガヤ席（居酒屋から副音声のみ）、敗者復活席の重層形態にして、すべての階層で集中と俯瞰の高みの芸を競うようにしてもらいたいですね～。



https://www.youtube.com/watch?v=sr--GVIoluU&start_radio=1&list=RDsr--GVIoluU#t=0

自分は「集中と俯瞰」という概念は、実は「ダサカッコよさ」と同じだと思っています。
キメているのに、どこか自分のカッコ悪さ（愚かさ）を楽しんでいる意識状態。意識の短ラン状態。これが「ダサカッコよさ」だと思います。禅の境地に近づく方向性を持っていると思います。

「U.S.A」ダサカッコよかったですね～！このスタイルでアメリカへのメッセージソングというのがいいです。

「ベタな自国第一主義、メキシコへのダサイ壁 勘弁しろよ！俺たちの好きだったアメリカ

<https://www.youtube.com/watch?v=6eln48BCELk> どこ行ったんだよカモン！！

ダサカッコよくLOVE&PEACE一緒にこの世界で追求しようぜ！！」って**ISSA**が歌っているような感じがしました。集中と俯瞰、ダサカッコよさで原理の極に危うく振り切れそうになる世界をなんとかかんとか手を取り合って繋いでいく、世界の安禅パトロール員が未来の日本人の役割ではなかろうかと思う、2019年元旦です。御安全に！！！！

代表取締役 羽原篤史



《ガガと日本とフレディー・マーキュリーの関係》

<https://www.youtube.com/watch?v=z8GPsfS5pAw>

<https://www.youtube.com/watch?v=c8p0H0cwLkQ>

<https://www.youtube.com/watch?v=51XcvtfK4DI>